



校訓 玉の心 和の心 学校教育目標 夢に向かって 明るくたくましく生き抜く力をもつ玉祖っ子

たまのや

平成28年(2016年)臨時
防府市立玉祖小学校

緊急時を想定して…

校長 梶田 崇 晴

子どもたちの安全を守るという視点で見ると、災害時の防災教育だけでなく、交通安全や防犯の面からも日頃から対策をとっておくべきであるという考え方が広がってきています。本校でも、昨年度の学校運営協議会で、交通安全や防犯の視点からも安全教育を行うべきだという意見をいただきました。そこで、9月17日(土)の土曜授業で、子ども達のみならず、保護者と一緒になって通学路の点検を行う活動を計画しました。朝の時間帯に行いますので、ご迷惑をおかけすることが予想されますが、よろしく願いいたします。午後には、下関気象台の出前授業を含めた防災授業を行う予定にしています。

6月18日(土)引き渡し訓練から

保護者や地域の皆さん方に、先日の引き渡し訓練に多くの気付きをいただきました。寄せられた気付きからいくつかを紹介します。

<良かった点>

- 昨年よりはスムーズに感じられ、良かった。
- 大変ではあるが、毎年実施しておけば学校側、保護者側、地域の方も緊急事態が起きたとき、落ち着いてうまく対応できると思う。
- メール配信により、保護者の出発場所が異なり、来校時間に時間差が生じて良かった。
- 前回より緊急時の対応を想定した訓練になったのではないかと思います。
- 引き渡し訓練などを実施すると、防災に対する意識が日頃から高まるので、訓練は実施すべきである。大変だとは思いますが、よろしく願いいたします。
- 初めての引き渡し訓練だったので、どんなものかと思いながら学校に向かった。先生方や見守り隊の方の真剣な表情でこちらもピリッとした。良い訓練だった。ただ、訓練ではみんなそろっているが、いつも全員がそろっているとは限らないので、先生方、見守り隊がどのポジションになっても同じ動きができるよう、保護者もしっかりと理解していないといけない。
- 緊急時の心の準備ができるような気がします。毎年実施していただきたいです。ありがとうございました。
- 車の前後を人が通るので、実際の非常事態の時は各々の心の平静さがどのくらい保てるかは分からないので、事故がないように意識しなくてはならないと思った
- 今回は訓練ということでメールが配信されるのを待っていたので、すぐに迎えに行くことができた。仕事中は携帯を身に付けているが、1度のメールでは気づかない可能性もあると思った。私自身も学校からのメールに家族の誰かがすぐに気づいて対応できるようにしておかないといけないと思った。

<改善が求められる点>

- 児童引き渡しまでに時間がかかってしまうので、学年・地区ごとにメール配信の時間を少しずつずらすなどすれば、校門付近での渋滞が緩和するのではないかと。
 - 貴重な改善案、ありがとうございます。時間差を考える際、その順列を付けるのは難しい点があります。低学年からという考え方もありますが、兄弟関係のことなど、今後考えていくべき課題がありそうです。
- 渋滞が起こっていたので運動場をもう少しうまく活用できたらいいのではないかと。

- 校内に入ってから経路、誘導の仕方を再度検討していきたいと思います。
- メール配信後の引き渡し訓練だったが、子どもの下校時間が分かっていたので渋滞につながったのではないかと。
 - より実践的な訓練を求め、予告無し（ブラインド方式）も考えられますが、その方法で行った際には保護者の方々に、子どもの習い事、帰宅後の計画などに多くのご迷惑をおかけすることが考えられるところです。
 - 車を利用するから渋滞する。子どもが歩いてきているのだから、保護者も歩いて迎えに来ればいい。緊急時は車も使えないことも考えられる。
 - 確かに渋滞を起こさない貴重な意見です。一方で現実的には職場から、駆けつける際、どこかに車をおくこととなり、近隣の皆様にご迷惑をかけることが予想されます。
 - 校門の渋滞が東側（自由ヶ丘方面）に偏っていた。一般道での渋滞は、近隣の住民の方、バス利用の方に迷惑がかかるのではないだろうか。バスが渋滞に巻き込まれていた。
 - 今回の訓練からの反省を知らせ、2号線バイパスなどを使って佐野方面からの出入りも、保護者に投げかけていきます。
 - 運行表には土日運休表示であったため、バスの通行は想定外でした。
 - 訓練の実施予告の伝え方をさらに徹底し、近隣の皆様、警察等の協力を得ながら渋滞緩和、渋滞時の対応に適切に対応していきます。
 - 道を譲らないマナーの悪い保護者がいた。
 - 緊急時には、感情がいつも以上に高ぶります。我が子の安全を守るのは当然ですが、お互いのこと、相手のことを考えることの大切さをいろいろな場でお話しさせていただきます。
 - 交通整理の人員をもっと増やせば、渋滞緩和につながるのではないかと。
 - 渋滞緩和に向けての貴重なご意見です。学校職員は総出で児童の安全確保、確実な引き渡しに取り組んでるのが現状です。今年は学校運営協議会、地域の交通安全協会、見守り隊の皆様にもご協力いただきました。今後は、保護者の方々にも、我が子を連れて帰るだけでなく、スタッフの一員となっていただくことも検討していきたいと思います。
 - 校門付近で、左折する学校来校の保護者なのか、直進する一般の地元の方の車か、誘導の方が戸惑って困っておられました。
 - ウインカーの上げ方など学校からもお話ししますが、警察などに事前通告して協力を得ることで、乱暴な運転などは取り締まっていただこうと思います。
 - 引き渡しカードを渡すことを知らず、再度取り出すという2度手間になった。前の人も止められてあわててカードを出していた。
 - 訓練を重ねることで保護者の方にシステムを理解していただき、スムーズな引き渡しができるよう今後も呼びかけていきたいと思います。
 - 徒歩の引き渡し場所が分からなかった。指示がなかった。
 - 案内プリントに表示していたものの、十分に伝わっておらずご迷惑をおかけいたしました。緊急時は人員が足りないことも十分に予想できます。誘導がなくても、保護者の方も自らが判断し、自主的に行動していただけるよう今後の訓練を続けていきたいと思っております。
 - 訓練があることが分かっていたので携帯を身に付けていたが、いつもは仕事中は携帯をおいている。連絡はどのようにしたら受け取れるのか。
 - 緊急時のお知らせは携帯メールの方法しかとっていません。個別の電話対応も考えるべきかもしれませんが、223軒という家庭数を考えると現実的には難しいのが現状です。緊急時、引き渡しが本当に行われた際は、最後の1人の子どもの引き渡しが完了するまで職員が責任をもって対応いたしますので、ご安心ください。
 - ピロティが崩壊した場合の訓練
 - 毎年訓練を実施していく中で、様々な場面を想定する必要も考えていきます。

貴重なご意見をありがとうございました。大いに参考にさせていただきながら、さらなる安心安全を目指して取り組んで参ります。今後ともよろしく願いいたします。